

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
コミュニケーション・プロジェクト HC-1	HSP23-010	選択	2	2.3	後期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
前川 真奈美 他	B304	manami.maekawa	木曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>人間コミュニケーション学科のディプロマポリシーにある「豊かな人間観」と「多様性を尊重する姿勢」を育むため、多角的な視野を培い、異なる背景や視点を尊重できる、多様な自己表現・コミュニケーションを実際の社会場面で実践して、自らの可能性を発掘させることにつなげる。</p> <p><概要>HC-1 では、実社会で効力を発揮するコミュニケーションに関する資格検定に挑み、コミュニケーション・セオリーを理解するとともに、ロールプレイやワークショップ、ディスカッション等の試験準備を通して、社会の場で通用するコミュニケーションの実践力・応用力を向上させる。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> その他 (検定受験) <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	日々の積み重ねが検定合格につながるのので、自己学習にも力を入れましょう。				
教科書	コミュニケーション検定 初級 公式ガイドブック&問題集 第2版/編著:サーティファイコミュニケーション能力認定委員会/2022年				
参考書	講義中に適宜紹介する。				
外部教材	講義中に適宜紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	コミュニケーションに関する基本的な考え方を習得できる。			HC (6)	
②	周囲の人々と「話す」「聞く」ことにより円滑なコミュニケーションをとることができる。			HC (6)	
③	状況に応じた適切、的確なコミュニケーションが実践できる。			HC (6)	
④	就職面接やインタビュー等の社会場面において正しく自己表現することができる。			HC (6)	
⑤	コミュニケーション学から派生する、一般知識、社会常識、マナー等を身に付ける。			HC (6)	
⑥					
授 業 計 画					
<ul style="list-style-type: none"> ・自分にあった攻略マップを考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 試験内容の中で出来ていること・出来ていないことを自分で評価してみる。 ◇ 資格試験までの限られた時間で出来ていないことができるように、自分に合った攻略マップを作ってみる。 ・コミュニケーションは一人でするものではない。みんなで一緒にロールプレイをしながら身につけよう。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 販売員として店頭に立ってみる。 ◇ 新入社員になって出社してみる。 ◇ 営業で新規開拓してみる。 ◇ 電話番になってみる。 ◇ 受付カウンターに座ってみる。 ◇ 就活生になってみる。 ・どこまでできたか「見える化」しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 模試にチャレンジして自分のスキルを数値化する。 ・グループで得点アップの作戦を考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ コミュニケーションの能力をきちんと得点に反映させる方法をグループで考える。 ・授業内で模試を実施し、11月に学内で実施する団体受験用の資格試験を受験する。 					
必要時間 (単位:時間) : 30					
学 習 課 題 ・ 学 習 時 間					
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト学習を進めながら、ロールプレイを通して応用力を身につける。 ・毎日の取り組みを攻略マップに反映させて、定期的に教員と共有する。 					
必要時間 (単位:時間) : 60					

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	0	20	80	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	5	5	10
	思考・推論・創造する力	0	0	0	5	5	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	20	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	20	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	5	10	15
	問題を発見・解決する力	0	0	0	5	10	15
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	攻略マップを作成して提出する。 攻略マップの進捗状況进行评估する。 評価割合は総合評価の 20%にあたる。				攻略マップを定期的に共有する タイミングで、フィードバック を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
その他	①	✓	ロールプレイへの取り組みを評価する。評価割合は総合評価の 80% にあたる。				講義中に総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	宇賀 美奈子						
教員の実務経験	該当なし						
実践的授業の内容	該当なし						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 最少開講人数は 4 名、定員は 12 名程度とする。 教科書は学科から支給する。ただし、受験料は各個人が負担するものとする。 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合には対面授業の参加は認めない。対面授業を行うが今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることもあり得る。 資格試験の受検を含むが、その可否と成績評価（単位認定）は一切関係しない。 						